

ナガレタゴガエル保護推進指針

1 種の概要等

ナガレタゴガエル (カエル目 アカガエル科)

Rana sakuraii Matsui et Matsui

岡山県版レッドデータブック 2009 絶滅危惧 I 類

環境省第4次レッドリスト 該当なし

(1) 生息情報

体長 38 ～ 60mm 前後。後肢のみずかきは非常に発達している。雌雄同色で背面は黄土色から赤褐色、灰褐色など。喉から胸部にかけ、黒色の斑が入る。繁殖期間中は皮膚がたるみ、木の葉状になる。雌雄とも秋に水中に入り、越冬と繁殖は水の中で行われる。雌は溪流中の岩や石の下に 100 個前後の白い卵を卵塊として産み付ける。非繁殖期は森林の中で過ごす。詳しい生態は不明である。

(2) 分布状況

日本固有種で、近畿・中部・関東・北陸の各地方の山間部の森林に生息する。岡山県内における生息地は県北部にわずか数か所と局所的である。

(3) 存続を脅かす要因

森林伐採、林相変化、河川開発、川相変化、ダム建設、道路工事(林道工事)、水質汚濁、産地局限

(4) 指定理由等

①指定理由

本種は、生息地が県北部の森林と局所的で、人為的介入が少ない生息地周辺で工事等が行われることで生息環境が悪化する可能性が高い。

本県内における生息状況が人為の影響によりその存続に支障を来す事情が生じていると推定され、かつ、個体数が極めて少ないことから、厳重な保護対策を講じる必要がある。

②指定年月日

平成25年3月15日

参考文献：岡山県版レッドデータブック 2009 動物編

2 保護の目標

本種は河川の源流部に近い溪流とその周辺の森林に生息しているが、分布や生態については未だ不明な点が多い。その解明を進めるとともに、本種の生息に必要な環境の維持・改善及び捕獲等の防止策を講じることにより、本種が自

然状態で安定的に存続できる状態になることを目標とする。

3 保護の推進に関する方策

(1) 生息状況等の把握・モニタリング

- ・本種の繁殖と越冬は水中で行われ、それ以外の時期はその周辺の林内で過ごす。詳しい生態は不明であることから、本種の生物学的特性、本種を取り巻く生態系の構造の解明、個体群の維持に影響を及ぼすおそれのある要因の把握のための調査・研究を進める。
- ・調査は、個体群への影響が最も小さい方法で行う。

(2) 生息地における生息環境の維持・改善

- ・本種の個体数の増減状況については不明であるが、既知の生息地は、人為的介入が少なく、ある程度溪流沿いに原生的な森林環境が残されている場所であることから、護岸改修や河床の改変、砂防ダムの新設や改修等、溪流沿いの森林伐採や林道の整備工事等による生息環境の悪化が強く影響するものと考えられる。こうした生態学的特性を踏まえ、生息環境の維持・改善のための効果的な対応策を検討する。

(3) 人工繁殖及び個体の再導入

- ・可能な限り自然環境下での維持増殖を図ることとするが、必要に応じて人工繁殖技術の確立に努め、個体数の増加や再導入の手法について検討を行うものとする。
- ・再導入の手法を確立したうえで、必要に応じて再導入による個体数の増加を図る。再導入は生息環境を整えたうえで行うこととし、遺伝的かく乱を防止するため、原則として他地域からの個体の持ち込みは行わない。

(4) 生息地における捕獲等の防止

- ・本種は生息場所が限定されており、個体数も少ないため、捕獲が繰り返されると再生・増殖が著しく困難となることから、生息地への不用意な立入等、個体群の持続に影響を及ぼすおそれのある行為を防止するため、生息地（保護推進区）における指定希少野生動植物保護巡視員による監視等を行う。

(5) 普及啓発の推進

- ・人為的介入により生息環境が悪化する可能性が高いことから、保護の必要性、保護に対する取組の実施状況等に関する普及啓発を推進し、本種の保護に関する配慮と協力を呼びかける。
- ・遺伝的かく乱の防止のため、他地域からの個体が無計画に持ち込まれないよう、啓発に努める。
- ・地域の自主的な保護活動の展開が図られるよう努める。ただし、生息地等の情報の取扱いには十分注意し、乱獲等を誘引することがないよう配慮する。

4 保護の推進に関する重要事項

(1) 生息地の維持管理

- ・ 森林伐採や林道の整備工事、砂防ダムの新設、護岸改修や河床の改変等の人為的介入により生息環境が悪化する可能性が高いことから、人為的介入の可能性のある関係者に対し、生息地保全への配慮と協力を呼びかける。

(2) 効果的な事業の推進のための連携の確保

- ・ 捕獲及び人為的介入等により本種の生息が脅かされないよう、生息地の地権者、漁業者、林業関係者、地元行政機関、専門的な立場から必要な啓発・調査・助言等を行う希少野生動植物保護専門員、生息地を巡回しその捕獲を防止する指定希少野生動植物保護巡視員、地域住民等との連携を図る。